

公表

事業所における自己評価結果(放課後デイサービス)

事業所名		からふるone	公表日			2026年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・療育室を複数人で使用する際の構造化など、療育スペースの維持に注力している。 ・小部屋で机上活動と大部屋で集団活動を適宜使い分けている。	・タイムスケジュールや使用スペースの確保を意識しながら、今後もよりよい活動の仕方を検討・継続してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・従業員の担当する職務分野を把握し、適性に応じて配置している。	・有資格者の職員のみが在籍しております。今後も児童福祉、発達障がいに関する研修を定期的に行い、療育の質の向上に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・スケジュールや来所してからの手順など視覚的構造化を取り入れている。 ・床の段差を取り除いている。 ・情報伝達については、絵カード、ジェスチャー、表情カードなども取り入れている。	・今後も職員間で連携を図り安全管理に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・四つ這い移動を主とする子どもも利用もあるため、工作の後にはホッチキスなど細かいゴミがないかなど配慮している。 ・毎日の清掃に注力し、空気清浄器を設置している。 ・自由活動時は、お子様の活動に合わせてスペースを分けている。	・今後も日々の清掃、定期的に療育道具の整理整頓、アルコール消毒など環境整備に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・刺激が少ない方が集中できるお子様は小部屋で活動など、お子様に合わせて各部屋を活用をしている。 ・大部屋での机上活動の際は、必要に応じてマットなどで仕切っている。	・今後もスペースや部屋の数にも限りがあるため、お子様の特性や状況などを踏まえて、対応してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・サービス提供記録で振り返りを行い、職員同士連携を取っている。 ・毎月職員会議、モニタリング会議、支援会議などを実施し、お子様の情報共有や意見交換などを行っている。	・PDCAサイクルを進めやすくするため、職員同士で相談しやすい職場の雰囲気づくりに努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・年1回の事業所評価の内容を職員全体で共有し、共通認識をもてるようになっている。 ・来所の際や面談などで、保護者からの意向を把握するように努めている。	・今後も保護者から頂いた評価やご意見を業務改善につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝礼、終礼、療育前後など職員同士、率直に意見を伝えやすい環境になっている。 ・2ヶ月毎に職員と面談を実施し、職員の意見を把握している。 ・育成シートで、職員の日々の業務など把握し、業務改善に活かしている。	・年齢や立場に関係なく意見を出し合える職場の雰囲気づくりに今後も目指してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		・他方面よりいただいた意見を真摯に受け止め、検討の上で業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・社内研修および外部研修に参加する機会を設けている。 ・管理者や主任会議を毎月行っており、支援に関する情報を全体で確認するなど、職員のスキルアップにつなげている。	・様々な研修に積極的に参加して 専門性を高めるよう努めております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ガイドラインに基づき、簡潔でわかりやすく提示している。	・からふるHPIにて公表しております。

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・計画期間ごとにモニタリングやアセスメントを行い、お子様や保護者様の意向を取り入れながら作成している。	・今後も支援の質の向上のため、アセスメントやモニタリングを定期的に行い、支援計画に反映させてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・職員の意見や見解も取り入れることができるよう、モニタリング会議を開催している。	・今後もお子様の日々の様子を職員間で共有しながら、支援方法など検討してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・支援計画を意識したプログラムが提供できるように研修を行っている。	・今後も計画に沿った支援ができるよう努めてまいります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・日々の様子をアセスメント、モニタリングとして記録している。 ・必要に応じて、保護者様からの聞き取りも行っている。	・今後も日々の行動観察や保護者様からの聞き取りから得た情報をスタッフ間で確認できるよう努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・ガイドラインに明示された項目を設定し、お子様の強みを生かしてスモールステップで活動に取り組めるような目標設定を行っている。 ・家族や園、学校などに関しても必要に応じて連携をとっている。	・今後も本人支援だけではなく、必要に応じて地域や関係機関と連携を図ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・多職種で連携を図り、運動や机上活動など職員のアイディアを取り入れながらプログラムの立案を行っている。 ・ハロウィンやクリスマスなど、季節のイベントについてもスタッフで意見を出し合いイベント内容を決定している。	・今後もプログラムに応じて、職員間で情報共有、打ち合わせを継続してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・お子様の成長に合わせてプログラムを組んでいる。 ・固定化が必要な場合は、難易度を変えたり、アレンジを加えたり工夫しながら取り入れている。	・今後もお子様が日々成長していく過程を観察し、既存プログラムのブラッシュアップや新しいプログラムの立案に努めてまいります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・活動を振り返り、お子様に合った支援を行っている。	・季節に合わせた行事・イベントを行ったり、お子様に合った支援計画を立てております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・事前に担当や役割分担について、確認できるよう割り振りをメールにて送信している。 ・朝礼で一日の流れを確認している。	・支援前後に限らず、こまめに情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8	1	・時間的に限りはあるが、振り返りは行っている。 ・気になった部分などは都度報告、相談している。	・支援前後に限らず、こまめに情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・記録を徹底し、検証、改善につなげるように複数人が記録にあたっている。 ・報告を保護者様宛にPDFにて送信している。	・今後も療育内容の記録を徹底し、職員間で確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・支援計画の更新時や保護者様からの要望など、必要に応じて、モニタリング会議を実施している。	・今後も保護者様の意向も確認しながら、支援計画の更新を行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	0	・①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供など、児童に応じて必要な活動を個別支援計画に基づき複数組み合わせ、支援をしている。	・今後もガイドラインの5領域を基に、お子様に沿った支援に努めてまいります。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	・活動の中で、お子様同士でプログラムを決めたり、2～3の活動を提示した中から選択できるようにしている。 ・余暇活動では、過ごし方を選択してもらっている。	・今後も様々な活動を提供し、自己決定ができるような環境を設定してまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	・児童発達支援管理者が参画している。	・実施時には、必要に応じて他の職員も参画できるように調整しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・必要に応じて、相談支援事業所や他事業所、園などと連携を図っている。	・児童発達支援管理責任者が中心となり、対応しております。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・保護者様から情報を共有していただいたり、必要に応じて通学先と連携を図っている。	・今後も必要に応じて、学校など関係機関と連携を図ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・保護者様の要望に応じて適宜連携を図っている。	・今後も必要に応じて連携を図ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	・卒業時には支援が滞らないよう、相談事業所など関係機関と情報共有に努めている。	・今後も必要に応じて情報提供に努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	・行政や専門機関の行う説明会、研修は積極的に参加している。	・今後も連絡会、研修会などに積極的に参加をして、連携を図ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・事業所近隣の公園で屋外活動を行う際、他児童と交流することがある。	・今後もニーズを探り、必要に応じて実施を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		・必要に応じて対応してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・日々の支援のフィードバックシートには、児童の成長した点などを小さな事でも気付いた点を記載し報告している。	・日々の療育の様子や振り返りを、メールにて報告しております。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・保護者様からの要望があった際は実施している。	・今後も家族支援の面談などで、情報提供など行ってまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・契約時や更新時など、随時説明を行っている。	・今後も丁寧な説明を行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・常に保護者様やお子様の要望や意向の確認を行い、支援計画を作成している。	・今後も家族の要望や意向を確認する機会を設けてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・個別支援計画の説明時にご了承いただいている。	・今後も丁寧な説明を行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・保護者様とは、相談しやすい関係性の構築に努めている。	・いつでも相談できる体制を整えてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	・可能な限り、きょうだい一緒に活動できる固定枠を案内している。 ・きょうだいで一緒に通所することが難しいご家庭には、祝日など同じ時間帯に予約を取り、きょうだいで活動する機会を設けている。	・現在、保護者会は行っておりません。ですが必要な場合、ご希望・ご都合が合う場合には、ご了承を得て保護者様同士をおつなぎする場面もございます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるように努めている。 ・重要事項説明書に第三者窓口について記載している。	・いつでも相談できる体制を整えてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・イベント開催や終了後の報告、月の工作など活動の様子をからふる通信で発信している。	・月1回会報（メルマガ）を発信しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報に記載されている書類はすべて鍵付き書庫に保管している。 ・個別支援計画、契約時書類などPDFデータで保管している	・重要書類は鍵付き書庫に保管しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	・絵カードや文字での提示など、お子様の発達に応じた提示の仕方をしている。	・月1回の職員会議に加え、研修等で意識づけを行っております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・事業所近隣の公園でサッカーやバスケットボールを行う際、他児童も交えて試合を行うこともある。	・今後保護者様からの要望があれば、地域住民の方も参加可能なイベント開催を検討してまいります。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・各種マニュアルは策定しており、定期的に研修を行っている。 ・各種マニュアルはいつでも閲覧できるよう、待合室に書類を設置している。	・今後も訓練などの実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・業務継続計画は策定しており、定期的に避難訓練なども実施している。	・年に2回、2月と9月を目安に避難訓練(地震・火災想定)を、その他消火器訓練等を5月に実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・フェイスシートなどで個々に情報を提出してもらっている。	・てんかん時の対応など、職員間でも情報共有しております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・食事やおやつ提供はございませんが、アレルギーについては、フェイスシートなどで確認している。	・事業所で準備した食物を提供する機会がございません。今後、イベントやおやつ等、食物を扱う際には保護者様との情報共有を徹底してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画に基づいた研修や訓練を行っている。	・今後も安全に留意し支援を行ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・掲示板や必要に応じてメールで周知している。	・ご契約時など随時ご説明をさせていただいております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・事案があった場合、ヒヤリハット報告書を作成し、職員への共有や対応の検討を行っている。	・今後も毎月の職員会議にて報告、改善の検討を行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に虐待防止研修を実施している。	・今後も定期的に研修を実施し、職員の専門性を高めるよう努めてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・契約時などに説明し、保護者様の同意を得ている。	・今後も丁寧な説明をして、保護者様の同意を得られるよう努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後デイサービス)

事業所名 からふるone

公表日 2026年2月10日

利用
児童数

51名

回収数

44名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	4	0	4	・運動スペース、机上スペースともに しっかり確保している。 ・活動しているところを見たことがない ので。 ・活動スペースに入ったことがないた め分からない。	・限られたスペースではございま すが、今後もより工夫を重ねて 取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39	2	0	3	・かならず複数名、かつ男女どちらの 方もいらっしゃるのありがたいです。 ・活動しているところを先生と、お馴染みの先生 と両面で適切な配置だと思う。	・職員の配置基準は満たしております ので、今後も引き続き、活動時間帯ご とに柔軟な対応を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると 思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	1	0	5	・運動スペースは広く窓も多く、光彩も 取れている。机上スペースは個室に なっていて集中できる環境になってい る。	・事業所内の構造化に努めておりま す。 ・世田谷区推奨のユニバーサルデザイ ンの基準を満たしており、車いすをご 利用の方にも対応が可能です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	2	0	1	・入口に季節の飾りがあるのが良いと 思います。 ・夏場に入り口付近のマットから足の 臭いがしました。	・引き続き日々の清掃を徹底し、感染 症対策として、アルコール消毒、こまめ な換気など環境設定に努めてまいりま す。
適切 な支援 の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	41	2	0	1	・モニタリングや計画書を丁寧に作成 いただいています。	・今後もお子さん一人ひとりの発達状 況に合わせながら、専門職による専門 的なアセスメントや計画書を作成に努 めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	39	2	0	3		・支援プログラムはHPで公表しており ます。今後も支援プログラムに合った 支援内容を提供してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作 成されていると思いますか。	42	2	0	0		・今後もお子様の状況や保護者様の ニーズを反映した個別支援計画の作 成に努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族 支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目 が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると 思いますか。	40	3	0	1		・計画書については、複数の職員で検 討を行い、必要な見直しは適宜行っ ております。 ・支援内容については、具体的なプロ グラムなども支援のポイントに記載さ せていただいております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思います か。	41	2	0	1	・見学等が出不来いため	・ご予約が多い時間帯では、時間で交 代していただく場合もございますが、見 学は可能でございます。 ・今後も個別支援計画書を定期的に確 認して、職員間で共通認識を持って支 援が行えるよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	39	4	0	1	・運動、工作、SSTいずれも過替りでプ ログラムを用意していただいています。 ・色々な課題で、本人に合った支援を 提供いただいています。	・今後も一人一人のお子様にあったア プローチの仕方を検討し、適切な支援 を提供してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会がありますか。	17	5	9	13	・公園に行くとともに地域の子供と交 流することがあるようです。	・公園での活動や初詣、春の遠足イベ ントなどで地域のお子様と交流する場 面はあります。今後も公園などでの活 動を積極的に取り入れてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	1	・制度に関する説明は丁寧です。	・ご不明な点などございましたら、いつ でもお声がけくださいま せ。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	38	3	2	1	・書類のやりとりのみで直接話したこと はない。	・日々の療育報告書や支援計画書に ついては電子サインを導入している ため、今後も支援内容や療育の進捗 状況については、面談の機会などを設 けてまいります。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	9	8	7		・保護者様からご相談があった場合に助言や連携など行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	8	6	3	・サービスを受けるたびに事業所からメールでご報告頂いているが、その報告書に対してこちらが思っていることを先方に伝えたくても返信が出来ないようになっている。	・今後も療育の支援内容などを毎回文章で情報共有するとともに、必要に応じて面談を行うなど、共通理解が持てるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	5	1	0	・こちらからアクションを起こさない限り、助言は受けられない。 ・送迎時に当日の様子や体調などの伝達があります。	・今後も面談などは積極的に行っていきたいと思っております。ぜひご活用ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1	1	0	・共感的、肯定的に支援していただきありがとうございます。	・今後も、お子様や保護者様の気持ちに寄り添った丁寧な対応に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	8	9	11		・現在、保護者会は行っておりません。ですが必要な場合、ご希望・ご都合が合う場合には、ご了承を得て保護者様同士をおつなぎする場面もございます。 ・またイベントなどでは、きょうだいの参加も積極的に受け入れております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	3	0	3		・契約時に説明させていただいておりますので、これからもお気軽にお問い合わせいただけますと幸いです。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	6	1	3		・お子様の療育中など、個別面談で時間をとってお話する機会をつくれますので、職員にお声がけください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	1	2	3	・メルマガ楽しく拝見しています。	・月に1回、webマガジンにて活動の報告をさせていただいております。 ・事業所評価の結果もHPで報告をさせていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	1	0	3		・重要書類は鍵付き書庫に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	1	11	・子供から訓練の様子を耳にする。地震の際には訓練を思い出している。 ・手洗しも徹底していただいています。 ・避難訓練はあったと思うが、その他は知らない	・控室に各種マニュアルの設置がございます。療育見学等開放された際には、改めてご覧いただけますと幸いです。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1	0	11	・避難訓練をしていると聞きました。	・年に2回、2月と9月を目安に避難訓練(地震・火災想定)を、その他消火器訓練等を5月に実施いたしております。会報にも掲載しておりますので、一度ご覧いただけますと幸いです。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	2	0	8	・周知されているかどうかわかりませんが、確保はされているとは思う。	・安全計画を作成し、お子様が安全に活動できるよう、取り組んでまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	1	7	・ぶつけたときや絆創膏で手当したことなどがあれば、丁寧に知らせてくださります。大きな怪我もなく安心して通えています。 ・活動時にできたちょっとした打撲なども報告してもらえている。	・お子様が怪我をした際は、帰りに保護者様に報告、もしくは電話や日々の日報にて報告をしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	0	・一人で行き帰りができるなど、自立しながら楽しく通っています。 ・通所を楽しみにしている。	・法人理念「5年後10年後まで安心でできる場所の提供」を今後も目指してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	42	1	0	1	・先生、他児に会うことを楽しみにしている。 ・毎週自ら通う準備をする姿があります。	・お子様が楽しんで活動に参加できるよう引き続き努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	4	0	0	・子どもも拠り所としており、十分な支援に感謝しています。 ・小学生になっても、療育的アプローチを頂き感謝しております。引き続きよろしく願います。 ・長期にわたり成長を見守ってくださり、学校とはまた別の本人の居場所になっていると感じます。	・職員一同、今後もより一層のサービス向上に努めますので、皆様のお力添えの程、どうぞよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価総括表(放課後デイサービス)

○事業所名	からふるone			
○保護者評価実施期間	2026年1月4日 ～ 2026年1月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数)	44名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性や発達段階に合わせた活動内容の提供やプログラムが固定化されないように工夫している	・多職種の専門職員が支援にあたり、互いに連携することで支援内容の充実が図れる ・個別、小集団、余暇活動など、様々な遊びや活動を提示し、自己決定や選択する力を身につけるとともに興味の幅を広げられるようにしている ・小集団にも必要に応じて、プロンプトを配置している	・個別、小集団を分けた療育内容の記録や日々スタッフ同士で情報共有、意見交換をする機会の充実を図る ・専門職と児童指導員との連携をスムーズにするシステムづくり ・学習、運動、情緒面など偏らないように、様々な方面から支援を行う
2	・多彩なイベントの開催	・毎月四季の移り変わりを肌で感じられるような、工作を実施している ・毎年恒例のイベントとして、ハロウィンやクリスマス、春には貸切バス遠足の提供など、年間行事に取り入れて実施している ・事業所周年イベントでは、夏祭りを実施している	・今後もより充実したイベントなどの提案 ・イベントを通じて、より多くのお子様の交流の場にもなるような仕組みを検討する
3	・不登校児を積極的に受け入れている	・平日の午前中など、利用が少ない時間帯に不登校のお子様に学習支援などを含め個別療育を実施している ・学校に戻れるように、SSTなどを通じて、コミュニケーション力や社会性を身につけられるように支援している ・今年度は小学校とも連携を図ることができ、不登校児が学校に行けるようになった	・今後も保護者や学校等と連携を図り、自宅や学校以外の安心できる第3の居場所と学びの提供ができるように努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動スペースが狭い	・曜日や時間帯によって異なるが、特に高学年や中学生以上のお子様の集団での活動は狭さを感じる場合もある	・固定枠での振り分けで、2つのグループがつくれるように調整をして、集団活動はグループに分けて実施する ・力やスピードのコントロール方法や狭いスペースでも上手に動ける体幹トレーニングなど提供する
2	・保護者様との面談などの機会が少ない	・保護者様から要望があれば、面談を実施しているが、お子様の成長に合わせた面談や相談の機会が少ない	・日々の療育のフィードバックと合わせて、必要に応じて定期的な面談ができるような体制を検討する ・ペアレントトレーニングなどについても、スタッフの知識の向上を図り、保護者様のニーズに答えられるよう職員のスキルアップを図る
3	・父母の会の活動の支援や、保護者会などの開催ができず、保護者同士の交流の機会がつかっていない	・家族参加型のイベント企画を行っていない	・保護者様のニーズを把握する ・父母の会の活動を実施している近隣事業所などを参考に ・大型イベントで家族で参加、交流できる仕組みを検討する